

製品名: カテプシン D (11F19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08010**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,IF-P 1:50-1:200
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	CTSD CATD; Cathepsin D; Cathepsin D heavy chain; Cathepsin D light chain; ceroid-lipofuscinosis,
別名	neuronal 10; CLN10; CPSD; CTSD; lysosomal aspartyl peptidase; lysosomal aspartyl protease; MGC2311
遺伝子 ID	1509.0
SwissProt ID	P07339
免疫原	ヒトカテプシン D の合成ペプチド

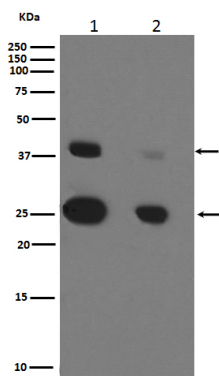
背景

この遺伝子は、単一のタンパク質前駆体から生成されるジスルフィド結合した重鎖と軽鎖の二量体からなるリソソームアスパルチルプロテアーゼをコードします。ペプチダーゼ C1 ファミリーのメンバーであるこのプロテアーゼは、ペプシン A に類似していますが、より狭い特異性を持っています。この遺伝子の転写は、エストロゲン調節転写の開始部位である部位を含む、いくつかの部位から開始されます。この遺伝子の変異は、乳がんやおそらくアルツハイマー病など、いくつかの疾患の発症に関与しています。細胞内タンパク質分解に活性な酸性プロテアーゼ。APP 分解につながる ADAM30 による切断と活性化に続いて、APP プロセシングに役割を果たします (PubMed:27333034)。乳がんやおそらくアルツハイマー病など、いくつかの疾患の発症に関与しています。

研究分野

神経科学、細胞接着タンパク質、膜タンパク質、シグナル伝達、細胞骨格/ECM、細胞外マトリックス、ECM 酵素、がん、細胞生物学、タンパク質分解/ユビキチン、タンパク質分解酵素、システインプロテアーゼ、カテプシン、神経科学、疾患

画像データ



(1) MCF-7 細胞溶解物、(2) SKBR-3 細胞溶解物におけるカテプシン D 発現のウエスタンブロット解析。